

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<PPP事業部>

4月1日付の本社の組織変更で従来の営業推進部がPPP事業部とSP事業部に分割されました。新設されたPPP事業部は、Public（パブリック）、Private（プライベート）、Partnership（パートナーシップ）の略称であり、公共施設等の運営を行政と民間が連携して行う“官民連携”事業のことを意味します。具体的には、指定管理者、PFI（Private Finance Initiative）、包括的民間委託等といった事業が対象となり、管理施設としては広島市指定管理者4物件（中小企業会館、可部運動公園、留学生会館、西部埋立第五公園）、広島県PFI1物件（広島県東部運転免許センター）、そして新たに4月1日よりスタートした、廿日市市指定管理者の廿日市市民活動センター運営業務となります。

今後、発注者側との更なる連携を図り、各事業所の持続的な運営管理に向けて積極的な事業展開を検討していきますので、皆さまのご協力よろしく申し上げます。

<広島市留学生会館>（国際交流・国際協力の拠点）

当館では4月の居住施設の定期募集により、新たに22名の留学生が入居します。新入居留学生には、生活の基盤を一日も早く築いて貰うため地元荒神町近隣の病院、銀行、郵便局、飲食店、大型商品店等を案内する新企画「荒神町お散歩ツアー」を実施します。多くの友人を作り、日本、広島での生活に慣れ、安全、安心、快適に暮らして欲しいと願っております。

<広島市中小企業会館>

新年度に当たり、前期を顧みると前半はコロナによる催事キャンセルが多くありましたが、後半からはコロナ禍の影響も薄れ催事利用は回復しました。今期に入り4月は展示館で全館利用の大型催事が2件開催されるなど、賑わいが戻り順調なスタートを切ることができています。当館は指定管理期間（5年）の4年目を迎えており、今期の実績が特に重要になってきます。出来ること、やるべきこと、効率化、差別化等のステップアップを目指し、管理運営に取り組んでまいります。

<SP事業部>

組織変更により、4/1から営業推進部SP担当はSP事業部として独立しました。業務内容はイベント設営、内装工事、屋内外の広告工事を手掛けます。本社スタッフの三澤部長・舛井参与・林主任が中心となって、イベント設営においては自社所有のオクタパネルを最大限利用し、コロナ禍で減少した売上の回復を目指しますのでご協力よろしく申し上げます。

<クレンリネス事業部>

4月1日より、この春高校を卒業した寺井社員を迎えました。本社での研修の後には、北部医療センター安佐市民病院事業所で病室清掃に従事してもらいます。まだ慣れない点多々ありますが、一生懸命頑張っていますので是非応援してあげてください。

オオケン第59期に当たり、今年度こそ無事故・無災害で業務に当たると共に、お客様から好評価を頂けるよう力を合わせて頑張っていきたいと思います。

<セキュリティ事業部>

4月から本社スタッフとして宮木参与が新たに加わり、新体制での業務が始まりました。現在5月のG7広島サミットに向けた警備対応が始まっていますが、その影響で各現場でも期間中やその前後に、お得意先の業務の都合等で警備勤務が休日体制となったり、シフトが変更されたりすることも予想されます。加えて、現場への通勤に支障が出ることも懸念されますので、本社と各現場との情報共有が大切になります。報告・連絡・相談をよろしく申し上げます。

＜東京支店＞

未だに WBC の余韻冷めやらす、MLB の大谷翔平選手他の活躍に胸躍らせています。持って生まれた才能はもちろんですが、皆さんプロとして、凄まじいばかりの努力を重ねていることを仄聞（そくぶん）しております。

この度、全国ビルメンテナンス協会の ICCC（感染制御管理士:Infection Control Cleanliness Crew）に、「学科講習」「実技講習・修了考査」を経て東大病院 進藤所長と小川副所長の 2 名が合格し、資格取得しました。病院清掃のみならず、業務のあらゆる分野において専門性や品質向上が要求されて来ている時代です。思い立ったが吉日。年齢・性別関係なく、新年度を機に技能の向上あるいは自己実現のため、気力を振り絞って新たな資格その他に挑戦してみませんか。

＜東大病院ベルツ、スクリバ博士像＞



＜FM事業部＞



今年度も無事故無災害や新規物件の獲得・スポット業務の受注拡大等を目標に掲げ、全力で取り組んでいきますが、それには各事業所で勤務されている皆さんのご協力が不可欠です。豊富な知識や技術を持った社員の方々が、年齢や体調面その他様々な事情で退職されれば当然戦力ダウンとなりますが、募集をしてもなかなか後任が見つからないのが現状です。

そこで皆さんのご親戚・友人・知人等の中に、設備管理の仕事に興味のある方や資格を持たれている方がいらっしゃれば、是非とも我々の仲間になって頂ければと思いますので、ご紹介の程よろしくお願いします。

＜安全衛生委員会＞

昨年度（第 58 期）における労働災害の発生件数は 9 件となりました。57 期（12 件）と比較し、発生件数は 3 件少なくはなりましたが、昨年 9 月に発生した化学熱傷による労働災害は、半年を経過した現在も休業継続の重大事故となりました。さらに 9 件のうち 5 件が転倒転落による事故でした。

ビルメンテナンス業界においても転倒転落事故は発生頻度が最も高く、骨折などで休業を伴う可能性も高くなります。転倒転落事故の撲滅、そして、休業を伴う重大事故の撲滅に向け、気持ちも新たに安全活動にご協力ください。ご安全に！！

＜磨種（ときぐさ）＞

平成 15 年（2003 年）1 月 1 日を以て株式会社大中建装は㈱オオケンに社名変更し、満 20 年が経過しました。少し歴史を振り返ってみますと、昭和 35 年（1960 年）創業時は大中建装商会と名乗り、昭和 40 年（1965 年）に広島駅ビル（旧広島民衆駅）が完成して、ビル清掃会社として業務開始する際に株式会社でなければ契約しないことを当時の社長故田中好一氏（山陽木材防腐株式会社社長・現株式会社ザイエンス）から言い渡され、資本金 200 万円を社祖である故小林秀夫氏から託され株式会社大中建装が設立されます。直後に小林秀夫氏が急逝され初代社長に義弟の故渋谷勇氏（当時の横川材木店・小林秀商店の社長で令和元年（2019 年）満 100 歳で逝去）が就かれ半年後に故大中繁之氏（昭和 59 年（1984 年）2 月逝去）に引継がれ、大いに拡大前進しますが惜しくも第 19 期途中急逝、子息の大中恒男現会長が社長就任し、令和 2 年（2020 年）に現在の大中幹夫社長が引き継ぎます。

この間約 40 年の歳月が流れる中で、故大中繁之氏の経営理念・不撓不屈をベースにし、己に徹して人のために尽くそう（舟入高校長故外林秀夫作成）を基に、利を以て利となさず義を以て利となすことを会社信条とし、今や「最適環境づくり人づくり国づくり」を掲げて「5S」と「ABC」の徹底実践を行う、I-CoSS（インフェクション・コントロール・サポート・システム・サービス）を提供する会社として存続し、己を雑巾に例え己は汚れても相手を綺麗にする清掃業務を基本に、大病院の院内環境衛生管理業務をはじめとし、一級建築士事務所業務や PPP 業務、指定管理者業務など、あらゆる施設管理業務の取り組みに余念がありません。

かつて牛田新町の不動院麻生照胤住職が、東寺高校時代の故三浦俊良校長からの雑巾の教え『諸君は社会の雑巾たれ～自己を汚して他を綺麗にする雑巾になれ』をご教示いただきましたが、未だに自分を奮い立たせる言葉として残っています。富士山に登るのに様々な登り方があるように、オオケンにおいては 700 名余りの社員さんの多様な心が日本一の富士山登頂心を育ててくれます。